



令和2年7月18日 松商学園グラウンドにおいて行われた
「夏季高等学校野球長野県大会（選手権代替大会）開会式（当時3年生全員）」

「挨拶」

松商野球部OB会 会長 福岡 進

日頃より、松商野球部OB会から現役野球部の活躍にご協力とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。



令和2年度は新型コロナウイルス感染症により春の選抜大会と夏の選手権大会が中止となり、OBとして大変寂しい一年となりました。そして現役選手、特に3年生の気持ちを思うといたたまれない思いでした。せめての救いは代替大会が開催されたことでしょうか。

日頃の練習も時間が制約され監督以下スタッフは、百人近い選手を如何に効率良く練習できるか、部員諸君のモチベーションを維持するのに大変苦労をされておりました。振り返れば甲子園大会が中止になったのは昭和16年から昭和20年の間です。その中で昭和17年は文部省主催の大会となり中部地区甲信静大会を制覇して甲子園出場を決めた朝日新聞社が主催しておらず、この年の大会は地区優勝したにも関わらず出場回数に認められず「幻の甲子園」となりました。当時マネージャーの宮坂眞一先輩の胸の内の苦しさを聞きしたことがあります。

しかし聖地甲子園は昔も今も、そして未来も変わらない場所でありました。そこへの思いを、松商野球部の歴史を創ってきた諸先輩、これからの担う後輩に託して令和3年度は夏の大会が開催されることを願い、甲子園出場を何としても果たしてもらいたいものであります。

直江大輔君の近況

高卒2年目の昨年、1軍デビューを遂げ3試合に先発した。しかし10月に持病である椎間板ヘルニアの手術を受けた。令和2年の契約更改で育成契約選手へ移行。リハビリを経て、今春の春季キャンプ終盤には、シート打撃（3軍）に登板している。腰の具合を見ながら3軍、2軍での調整が順調に進めば、支配下登録に復帰する可能性は十分。そしてシーズン後半には1軍昇格もあり得る。いずれにしても、原監督が大きな期待を寄せる若手の一人であることは間違いない。ジャイアンツの長野遠征が7月24日（土）オリックススタジアム15時開始、7月25日（日）県営飯田球場13時開始が予定されている。対戦相手は信濃グラッセローズ（OB柳澤裕一監督）である。直江君の一日も早い一軍での活躍を期待しましょう。



Web Sportiva より転載

「ご挨拶」

松商学園高等学校硬式野球部 部長 松宗 勝

日頃よりOB会の皆さまにおかれましては、野球部の活動にご理解、ご支援をいただき心より感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症は依然拡大傾向にあり、学校そして野球部にも大きな影響を与えています。活動はしているものの様々な制限の中での活動となり、毎日試行錯誤を繰り返しながら取り組んでいる状況です。感染症対策を万全にしながらも、野球部としてできることに前向きに取り組んでいきたいと考えています。

春の選抜大会が開催されたとはいえ、今後の大会もどのような形になるかわかりませんが、様々な対策を実施しながらの開催になることが予想されます。この状況や環境を言い訳にすることなく、今だからできること、この状況だから身に付けられることがあるということを中心に考え、日々の成長につなげていきます。

OBの皆さまには母校のグラウンド、球場に足を運んでいただき、この1年間苦しい思いをしてきた選手の成長した姿を見ていただければうれしく思います。そして、多くの方々と喜びを分かち合い、このような状況の中で明るい報告ができるよう精一杯頑張りますので、温かいご声援をお願いいたします。また、くれぐれもお体に「ご留意ください」。OB会の発展ならびにOBの皆さまのご健勝を祈念申し上げます。

「二年分の思い」

松商学園高等学校硬式野球部 監督 足立 修

日頃より硬式野球部に対し、暖かいご支援ご声援を賜り、深く感謝申し上げます。本年は新入部員27名が加わり、選手総勢95名となりました。

昨年は年初より新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、夏の甲子園大会が中止となりました。当時の3年生の失望感は計り知れず、しかしそこから立ち上がり、全員が最後までやり抜いた姿は実に立派でした。その間OBの皆様から選手に対して暖かい励ましをいただき、誠に有難うございました。今年の3年生においても同じく、高校野球生活2年半という短い期間のうち、今まで貴重な時間を休校や、部活動の制限によって失われてきました。今年に入ってもなお、練習時間の制限等は続いています。

そんなハンデを背負ってはいませんが、今年の冬の練習は例年の倍近く走り込み、チームの底上げを図ってまいりました。チームの団結力は強く、競争意識も高く、「2年分の思い」に昨年の3年生の分まで、何が何でも甲子園に行くんだ、そして甲子園でも勝ち進むんだという強い意思を感じています。ひと冬超えて着実に力をつけ、十分に戦える戦力は整ってきていると思います。

硬式野球部は今年度より「校技」という位置づけとなりました。「校技」とは学校を代表するクラブであり象徴であるというだけでなく、学園全体の一体感を醸成し、学園の士気を高める役割を担っているのだと思います。私たちスタッフは、①勝つこと ②人材育成 ③学園の模範 以上の3つを常に頭に置き指導しています。皆から応援されるようなチームとなつて勝ち進む、そして甲子園球場でのあの一体感、それが我々の目指すところでありたいです。

本年は今のところ球場観戦が可能です。是非、球場に足を運んでいただき、昨年の分まで「二年分の思い」を込め、スタンド、選手が一体感を持って戦っていただければと思っています。皆様からの「ご期待」に応えられるよう選手、スタッフが一丸となつて戦ってまいります。

今後ともご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



「夏の大会の抱負」

松商学園高等学校
硬式野球部 主将 藤石 烈 翔

夏の大会の目標は「甲子園出場」そして「日本一」になり、仲間や支えてくださった方々と幸せを分かち合うことです。

今年のチームは、「一球同心」今・考動、今・HEARTを「一つ」にしてというスローガンのもと、チーム力の向上、そして「主体性」のあるチームになっていくと、昨秋から頑張ってきました。特にオフシーズンである冬の期間では、選手が練習内容を決めて取り組み、ミーティングにしても、「反省」ではなく、「作戦会議」と考え方を変えて、チームとしても個人としても大きく成長することができたと思います。

夏の大会では、今までやってきた成果、そして今までの悔しさを糧に戦っていきます。

また、昨夏、コロナウイルスの影響で甲子園への挑戦を失われた先輩方の姿を、自分たち3年生が一番近くで見えてきました。夏は自分たちの思いだけでなくて、先輩方の思いも背負って戦っていきます。

改めて野球ができていくことが当たり前前ではないと感じ、今野球ができていくことに感謝し、今まで支えてくれた方々、松商学園を応援してくださっている方々、見てくださる全ての人に感動と勇気を届けるために、「全力疾走」そして高校生らしく泥臭く、全力でプレーをし、「日本一」を目指し、部員95人で頑張っていきます。応援よろしく願います。

「夏の大会の抱負」

松商学園高等学校
硬式野球部 メンジャー 宮川 遥 翔

今年のスローガン「一球同心」今・考動、今・HEARTを「一つ」のもと毎日練習に励んでいます。

新チーム当初、中々一つになれず選手間で境ができていたような状況でした。それでも度重なる話し合いをし、試合で経験を積みチームは一つになってきました。

新型コロナウイルスの影響で昨年、甲子園大会が中止となり今もなお、活動時間が制限されています。しかしその中でもこのチームは少しずつ少しずつ成長してきました。野球ができる喜び、仲間と戦う楽しさ、全体的に当たり前ではないと知ることができました。全国には苦しい思いをしている方がたくさんいます。高校野球は人を元気にする力があります。松商野球を全国で応援してくださる皆様に勇気と感動を与えます。

3年生にとって最後の夏です。この厳しい状況で野球をやったこれたのも、たくさんの方が支えてくれたからです。その感謝の気持ちを忘れず一試合、一試合、松商らしく全力で挑みます。

昨年、大会中止となり悔しい思いをした先輩の想いも背負って最後の夏、全身全霊で戦います。応援よろしく願います。



選手一覧

三年生

- 宮川 遥翔
- 大橋 快生
- 朝比奈大翼
- 今井 英寿
- 熊谷 大生
- 鈴木 竜平
- 田村 駿拓
- 夜久 亮太
- 岩淵 晴大
- 栗原 壮輔
- 名取 拓実
- 野田 留輝
- 渡邊 大恒
- 荒木 海斗
- 荒田 佳祐
- 石川 楓真
- 今井 裕太
- 牛丸 丈一
- 大澤 温人
- 金井 榛吾
- 高崎 脩
- 宮下 淳輝
- 篠田 快
- 瀧川 大生
- 忠地 大樹
- 羽入田師音
- 堤 陽翔
- 土井 和斗
- 藤石 烈翔
- 間中 大介
- 山崎 晴矢
- 渡邊創治郎
- 斎藤 優也
- 柴田 入毅
- 西 倫太郎
- 宮坂 稜久
- 加藤 光
- 金原 蒼樹
- 清水 悠利
- 織茂 秀喜
- 塩原 諒真
- 中澤 瑞季

二年生

- 赤羽 爽
- 百瀬 竣都
- 石田 憲成
- 栗原 英豊
- 小池慎之介
- 田島 碧人
- 逸見 翔太
- 朝日 悠成
- 金井 創
- 小宮山旺河
- 千野 優
- 堀内 一性
- 三本木義将
- 降旗航太郎
- 古海 拓真
- 吉水 真斗
- 小野 直哉
- 田中 陸
- 出川 凌大
- 西村 樹
- 井口秀太郎
- 一之瀬颯斗
- 笠原 陸功
- 河上 和真
- 塩原 聖也
- 小野 生

一年生

- 内川 大暉
- 北原 郁未
- 上條 大河
- 百瀬 拓海
- 磯貝 治郎
- 齋藤 新太
- 鈴木 湧陽
- 竹内 海翔
- 前田 優空
- 山岸 建斗
- 市川 蔵人
- 金井 悠真
- 小林 柁斗
- 長澤 蒼空
- 大塚 舜生
- 笠原 蓮
- 鈴木 太輝
- 矢口 恩
- 青柳 陽大
- 塩原 匠真
- 滝沢 悠太
- 小口 昂大
- 宮田慎之助
- 岩下 一磨
- 保倉 悠弥
- 籠田 涉
- 青柳 勇輝

総勢95名

指導者名簿

- 部長 松宗 勝
- 監督 足立 修
- 顧問 高山 幸大
- 顧問 金井 洋貴
- コーチ 清水 克海
- コーチ 松本 匡礼
- コーチ 池田 匡駿
- コーチ 松山 直弘
- トレーナー 萩原 和昭

部員心得

松商学園高等学校硬式野球部
平成二十六年三月二十日作成

- 一 野球選手である前に松商学園生徒であれ
- 一 礼儀は和の基である
- 一 常に松商野球部という和であることを忘れるな
- 一 常に謙虚であれ
- 一 態度・言語は正直・明快であれ
- 一 清楚な美は心から生まれる
- 一 我慢は自分のためである
- 一 健康管理に細心の注意を怠るな
- 一 常に反省したならば失敗は少ない
- 一 成長の場に立つ以上闘志を持ち続けよ
- 一 逃げ道をつくるな
- 一 本気で努力・研究することは成功への道
- 一 確固たる信念を持つ
- 一 自立心を養え
- 一 けじめをつけよ
- 一 凡時徹底を忘れるな
- 一 用具を大切にすることは精進の来れ
- 一 上級生は下級生が決める
- 一 下級生は上級生が決める
- 一 野球は社会に通じることを忘れるな
- 一 全てのことにあるがとう

誓詞

今日一日怒らず、怖れず、悲しまず、正直、親切、愉快地、力と勇気と信念とをもって自己に課せられたる責務を果たし、松商ナインの誇りをもって、立派な野球人として生きることを自分自身の厳かなる誓いとする。



4 放課後練習

放課後の練習は授業終了後16時すぎからスタートします。練習の流れを確認した後、部員心得を全員で唱和してから練習に臨みます。

この部員心得は平成26年3月に対外試合禁止処分を受けた当時の3年生たちが、以前からあった部員心得を現代に合った言葉遣いや考え方に修正するとともに、その意味を深く考え、2度と同じ悔しい思いをしてほしくないという思いも込められて作られました。その思いは代々引き継がれています。



野球部は現在3年生42名、2年生26名、1年生27名、総勢95名で活動しています。グラウンドだけではなく室内練習場、トレーニングセンター、薄川土手、富士電機グラウンド、松本市野球場室内練習場、千鹿頭神社の山道など人数と場所を分散させて効率よく練習できるようにしています。

また、下記のように4班にグループ編成し、土日祝日は3チームの練習試合を組み、試合経験も積んでいます。

- ① M 1 . . . メンバー
- ② M 2 . . . 3年生の準レギュラー
- ③ M 3 . . . 2年生中心（秋の大会を見据える）
- ④ 1年生 . . . 基本的な技術・心得を学ぶ

部員心得

松商学園高等学校硬式野球部
平成二十六年三月二十日作成

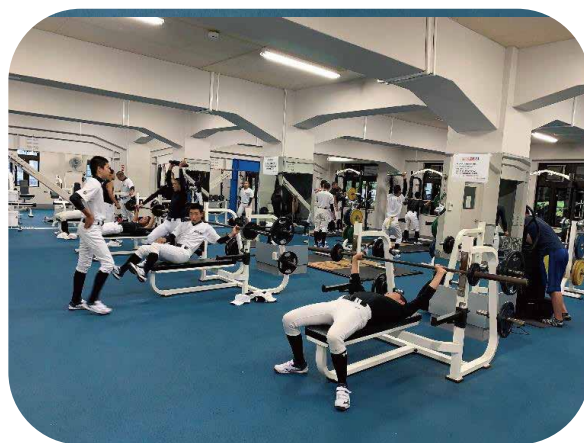
- 「野球選手である前に松商学園生徒であり、礼儀は和の基である。」
- 「常に松商野球部という和であることを忘れるな。」
- 「常に健康であれ。」
- 「態度・言動は正直・明快であれ。」
- 「清楚な美は心から生まれる。」
- 「我慢は自分のためである。」
- 「健康管理に細心の注意を怠るな。」
- 「常に反省したならば失敗は少ない。」
- 「成長の場にはついに闘志を持ち続けよ。」
- 「逃げ道をつくるな。」
- 「本気で努力・研究することは成功への道。」
- 「確固たる信念を持つ。」
- 「自立心を養え。」
- 「けじめをつけよ。」
- 「凡事徹底を忘れるな。」
- 「用具を大切にすることは精選の表れ。」
- 「上級生は下級生が決める下級生は上級生が決める。」
- 「野球は社会に通じることを忘れるな。」
- 「全てのことにあるがどう。」

室内練習場の入り口には、学生野球の父と呼ばれた飛田穂洲（とびたすいしゅう）さんの「練習常善」という言葉が書かれた額が飾られています。学生野球に多大な貢献をされた方で試合よりも練習に取り組む姿勢を大切にされ、学生野球は教育の一環であるという精神を植え付けられました。

この「練習常善」という言葉は「練習では常に最善を尽くす」という気持ちが込められています。偉大な方が書かれたものがこうやって身近にあるということは身の引き締まる思いです。

この言葉を毎日見てグラウンドで全力を尽くしているかを心に問いかけ、松商グラウンドは甲子園という思いで練習に臨んでいます。

※飛田穂洲さんの言葉としては「一球入魂」がある。





硬式野球部 校技

「硬式野球部は昭和3年に全国優勝を果たし、昭和5年には米澤武平2代目校長が、本校の「校技」に定めた。この歴史的文献を野球部OBの上條隆前校長が探し出し、学校法人松商学園理事會、評議員會に於いて「硬式野球部・校技」が確認された。更に、上條校長の講話により、教職員・生徒にも伝えられ、関係する方々に広く再確認される事となった。

「校技」である硬式野球部は毎年甲子園出場・上位進出を目標にした強化を図り、部員は本校の「校技」に位置づけられていることを心にとどめ置き、全校生徒の模範となる態度・行動を身に付けるための自覚を持っていただきたい。
(文責 横山 正志)

グラウンド全面に

LEDナイター

照明を設置

硬式野球部強化の一環として、指導現場より要望していたなかから、軟式野球部 女子サッカーを含めたグラウンド全面LEDナイター照明が50基設置されました。

2021年4月1日、桜満開、晴天のなか『東京2020オリンピック』長野県聖火ランナーとして参加させていただきました。

『東京2020オリンピック』のコンセプトである「希望の道を、つなごう」に共感し、次の世代の若者へのメッセージになればという思いで応募しました。

実際にトーチを持って走ったのは200メートルですが、オリンピックに参加しているんだという感覚の中、とても幸せな時間でした。

オリンピック閉会式の翌日が夏の甲子園大会の開幕日に当たり、昨年は延期、中止となりましたが、今年はずりつのため、高校球児のため、そして人類がいかなる困難をも乗り越えてきた象徴となるよう、コロナ終息を願い、大会が無事に開催されることを切に望んでいます。



大会結果 2020・2021

第102回全国高等学校
野球選手権大会代替大会

2020
7/18
8/10

- 松商学園 9-1 松本第一 (2回戦)
- 松商学園 7-4 松本国際 (3回戦)
- 松商学園 3-2 松本深志 (4回戦)
- 松商学園 2-3 上田西 (準々決勝)

第143回秋季北信越地区
高等学校野球中信大会

2020
8/28
9/12

- 松商学園 23-0 梓川 (2回戦)
- 松商学園 7-5 松本第一 (準々決勝)
- 松商学園 10-0 日本ウェルネス長野 (準決勝)
- 松商学園 1-3 都市大塩尻 (決勝)

第143回秋季北信越地区
高等学校野球長野県大会

2020
9/19
9/27

- 松商学園 7-1 小諸商 (2回戦)
- 松商学園 12-2 長野日大 (準々決勝)
- 松商学園 2-5 上田西 (準決勝)
- 松商学園 4-5 都市大塩尻 (3位決定戦)

第144回北信越地区
高等学校野球長野県大会中信予選会

2021
5/1
5/9

- 松商学園 13-0 連合チーム (2回戦)
- 松商学園 10-2 松本県ヶ丘 (準々決勝)
- 松商学園 11-1 松本深志 (準決勝)
- 松商学園 3-4 都市大塩尻 (決勝)

第144回北信越地区
高等学校野球長野県大会

2021
5/15
5/20

- 松商学園 7-3 篠ノ井 (1回戦)
- 松商学園 5-0 上田染谷丘 (準々決勝)
- 松商学園 13-2 高遠 (準決勝)
- 松商学園 8-2 岡谷南 (決勝)

平成26年秋季大会以来13季ぶり35回目の優勝
(春は21年ぶり15回目の優勝)

第144回北信越地区
高等学校野球大会

2021
6/5
6/8

- 松商学園 6-2 関根学園 (新潟2位)
- 松商学園 8-9 x 敦賀気比 (福井1位)

永遠の高校球児たちへ。

マスターズ甲子園 2021 長野県大会 実施要項

目的 昨今、野球人口の減少が囁かれる中、高校野球経験者のOB・OGを組織化し、その組織を活用して、野球人口拡大を目指し、野球というスポーツを通じて生涯スポーツの普及や地域社会の活性化に寄与するものとします。

主催 長野県高校野球OB・OG連盟

共催 朝日新聞長野総局 信濃毎日新聞

主管 マスターズ甲子園2021長野県大会実行委員会

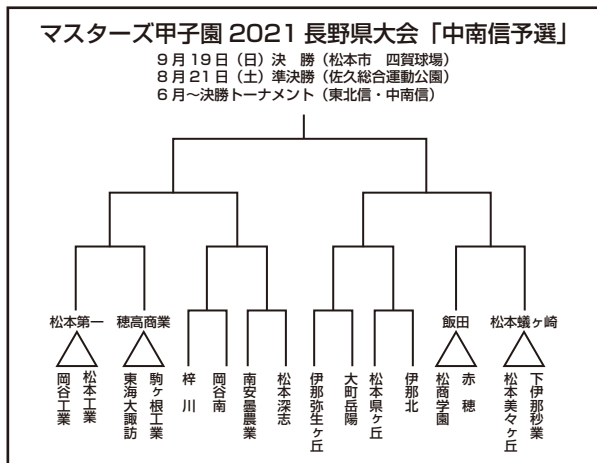
後援 全国高校野球OBクラブ連合 (他は未定)

日程 マスターズ甲子園 代表決定戦 9月23日 (木)
5月~6月 予選ラウンド 6月~決勝トーナメント
8月21日 準決勝 (佐久総合運動公園)
9月19日 決勝 (四賀球場)

会場 松本市 四賀球場 (代表決定戦) 他

参加校 県下高校野球OBチーム40校出場
東北信地区20校

長野商業、上田、岩村田、佐久長聖、長野吉田、飯山、松代、長野、長野工業、篠ノ井、長野日本大学、須坂、上田西、屋代、丸子修学館、中野立志館、上田東、上田千曲、野沢北、野沢南
中南信地区20校
松本深志、岡谷南、松商学園、大町岳陽、松本工業、松本美須々ヶ丘、赤穂、飯田、駒ヶ根工業、岡谷工業、松本県ヶ丘、穂高商業、南安曇農業、伊那北、下伊那農業、梓川、伊那弥生ヶ丘、松本蟻ヶ崎、東海大諏訪、松本第一



「予選ラウンド」

飯田綿半球場 第一試合

松商学園の勝利!
赤穂高校が人数不足のため不戦勝となり、8月1日の決勝トーナメント進出が決まりました。

本年度は、長野県大会初の単独校による代表決定となるためコロナ禍の中ではありますが、現役時代追いかけて夢に向かって精一杯戦います。

OB会の活性化と現役支援・応援と長野県野球界の発展を目指し活動していきます。

マスターズ甲子園 監督
深澤 友和



チーム	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
飯田	0	0	0	0	0	0				0
松商学園	4	0	5	3	1	/				13

OB会総会「報告」

毎年1月に開催しております「松商野球部OB会総会」につきましては、皆様に事前にお伝えしました通り、コロナ禍のため開催を見送りましたが、令和3年3月6日(土)松商学園清水が丘会館において、役員会を開催し、令和2年度事業報告及び会計報告、令和3年度事業計画(案)及び予算(案)につきまして出席者全員の承認を得ておりますことを、この誌面をお借りしてご報告させていただきます。

松商野球部OB会 会長 福岡 進

松商野球部OB会役員

顧問	宮坂真一(41回)	幹事長	飯沼光永(73回)
	下村幸雄(45回)	副幹事長	塩原久悦(82回)
	高山一栄(56回)		圓山 徹(83回)
	末岡幹也(57回)		小口卓哉(88回)
	丸谷義一(60回)		堤 良一(92回)
	高根 基(61回)		深澤友和(93回)
相談役	大月吉史(57回)		遠山裕太(105回)
	中原英孝(63回)		関谷将宏(107回)
	小尾淳美(77回)	会計	輪湖源和(86回)
	望月 登		桃井亮介(102回)
	唐木 裕(66回)	監事	宮川 昇(68回)
会長	福岡 進(65回)		大月弘士(83回)
副会長	召田三博(74回)	中信OB会 担当	前島秀俊(103回)
	横山正志(75回)	島根OB会 担当	深澤友和(93回)
	伊藤昌志(81回)	京浜担当	戸谷正一(66回)

令和2年度事業報告

●	1月6日	練習はじめ
	11日	球友会主催 必勝祈願祭・新年会
	13日	松商野球部OB会役員会
	18日	松商野球部OB会総会・新年会
	31日	松商野球部後援会 新年会
●	3月	父母会主催 3年生を送る会 新型コロナウイルスで中止
	4月	OB会会報編集委員会 会議は新型コロナウイルスで中止 例年開催している会議はすべて中止し、メールの遣り取りで作成
●	5月	マスターズ甲子園長野大会 新型コロナウイルスで中止 中信地区高等学校OB連盟定期総会
	20日	OB会会報発行 硬式野球部 部長・監督・スタッフ激励会
●	6月	新型コロナウイルスで中止 松商野球部後援会総会 新型コロナウイルスで中止 OB会会報編集委員会反省会 新型コロナウイルスで中止 中信地区高等学校OB連盟会議
●	9月	新型コロナウイルスで中止 中信地区高等学校OB連盟 ゴルフ大会 新型コロナウイルスで中止 中信地区高等学校OB連盟 野球大会
●	10月	新型コロナウイルスで中止 松商野球部OB会役員会
	18日	松商野球部OB会総会・新年会開催中止決定

◆あとかぎ◆

初夏の候、皆様にはいっそうご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染拡大で、選抜大会中止・春の北信越大会中止・夏の甲子園大会中止となり、代替長野県大会が開催されました。母校は準々決勝で敗退し、秋の北信越大会は、県大会準決勝敗退・3位決定戦敗退で本大会出場となりませんでした。また、無観客で行われ父母以外は試合の観戦ができなく、大変寂しい年でありました。

今年も、新型コロナウイルス感染対策をして、観戦できることとなり、母校の選手の活躍を見ることができ喜ばしく、春の高校野球県大会で、21年ぶりに優勝し夏の甲子園出場に期待が高まる活躍でありました。

マスターズ甲子園は、本大会に長野県代表が出場できることになっており、単独出場を目指しています。

現在、母校野球部は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響の中ではありますが、夏の甲子園を目指し練習に励んでおります。母校野球部が益々活躍できるよう役員一同努めてまいりますのでよろしくご協力をお願いいたします。

第7号の会報発行にあたりまして、花岡印刷様に心より感謝いたします。また、編集委員の皆さま大変ご苦労様でした。

会員各位の益々のご活躍をご祈念申し上げあとかぎとさせていただきます。

松商野球部OB会
幹事長 飯沼 光永

松商野球部OB会報

(Vol.7)
発行日 令和3年6月30日
発行所 福岡 進
編集者 OB会報編集委員
横山正志(75回)
太田浩行(75回)
圓山 徹(83回)
小口卓哉(88回)
堤 良一(92回)
関谷将宏(107回)
花岡印刷(有)